

平成26年3月20日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成26年1月8日付け厚生労働省発食安0108第8号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくアゾキシストロビンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

アゾキシストロビン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：アゾキシストロビン [Azoxystrobin (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤

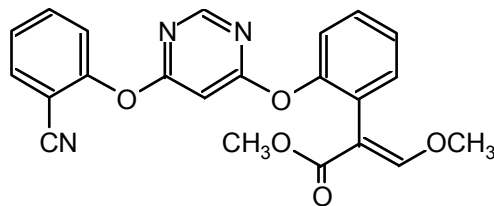
ストロビルリン系殺菌剤である。ミトコンドリアのチトクローム bc_1 複合体の Q_o 部位に結合することで電子伝達系を阻害し、菌の呼吸を阻害することにより抗菌作用を示すと考えられている。

(3) 化学名

Methyl (*E*)-2-{2-[6-(2-cyanophenoxy)pyrimidin-4-yloxy]phenyl}-3-methoxyacrylate (IUPAC)

Methyl (*E*)-2-[[6-(2-cyanophenoxy)-4-pyrimidinyl]oxy]- α -(methoxymethylene)benzeneacetate (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{22}H_{17}N_3O_5$
分子量	403.39
水溶解度	6.0 mg/L (20°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 2.5$ (20°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法(昭和23年法律第82号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 20.0%アズキシストロビンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病	原液	4～8mL/乾燥種子 1kg	は種前	1回	種子吹き付け処理	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
	株腐病		8mL/乾燥種子 1kg			塗沫処理	
	うどんこ病 赤さび病	2000～3000倍	100～200L/10a	3回以内	散布		
だいず	紫斑病	16～24倍	800mL/10a	収穫7日前まで	2回以内	無人ヘリコプターによる散布	2回以内
	腐敗粒	2000倍	100～300L/10a				
	べと病						
えだまめ					3回以内		3回以内
きゅうり	うどんこ病 べと病	1500～2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
	灰色かび病 菌核病	1500倍					
	褐斑病 炭疽病						
にがうり	うどんこ病 べと病 炭疽病	2000倍			3回以内		3回以内
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 べと病 炭疽病	1500～2000倍		収穫7日前まで			
メロン	うどんこ病 つる枯病 べと病	2000倍		収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
すいか	つる枯病 炭疽病						
トマト	葉かび病 灰色かび病						
なす	うどんこ病 すすかび病						
葉たまねぎ	灰色腐敗病 べと病			収穫3日前まで	3回以内		3回以内

① 20.0%アゾキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アゾキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	4 回以内	散布	4 回以内
ねぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病 葉枯病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 3 日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内
わけぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病			収穫 7 日 前まで			
あさつき	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病			収穫 3 日 前まで			
にら	白斑葉枯病			収穫 14 日 前まで	2 回以内		
にんにく	さび病 葉枯病			収穫 7 日 前まで	3 回以内		
はくさい	べと病 黒斑病 白さび病				4 回以内		
	白斑病	2000～ 3000 倍					
レタス	菌核病 灰色かび病 べと病 すそ枯病	2000 倍	3L/m ²	収穫 30 日 前まで	2 回以内	土壌灌注	4 回以内 (土壌灌注 は 2 回以内)
	ビッグベイン 病						
非結球 レタス	菌核病 灰色かび病 べと病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	4 回以内	散布	4 回以内
キャベツ	菌核病 株腐病						
ブロッコリー	べと病						
非結球あぶら な科葉菜類 (こまつな、 チンゲンサイ、 タアサイ、 みずなを除く)	白さび病						
みずな こまつな チンゲンサイ タアサイ		収穫 7 日 前まで	2 回以内	3 回以内 (粒剤は 1 回 以内、水和剤 は 2 回以内)			

① 20.0%アズキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数	
いちご	うどんこ病	1500～2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	苗床： 4回以内	散布	7回以内 (苗床では4回以内、本圃では3回以内)	
	炭疽病	2000倍						
	灰色かび病	1500倍			本圃： 3回以内			
	うどんこ病	1500～2000倍						
	炭疽病	2000倍						
	灰色かび病	1500倍						
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000倍			4回以内	4回以内		
てんさい	葉腐病 褐斑病	1500倍		収穫14日前まで	3回以内	苗床灌注	4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)	
	根腐病	1500～4000倍	ペーパーポット 1冊当たり 1L (3L/m ²)	定植前	1回			
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による) もち病	2000倍	100～400 L/10a	摘採14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
エンダイブ	菌核病			収穫21日前まで	1回		1回	
らっきょう	さび病			収穫3日前まで	3回以内		3回以内	
パセリ	うどんこ病			100～300 L/10a	収穫45日前まで		1回	4回以内 (粒剤は3回以内、水和剤は1回以内)
みつば	灰色かび病			収穫14日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで				1回

① 20.0%アズキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アズキシストロビン を含む農薬の 総使用回数	
みょうが (花穂)	紋枯病	2000 倍	3L/m ²	収穫 3 日 前まで	2 回以内	土壌灌注	3 回以内(粒剤 は 1 回以内)	
みょうが (茎葉)				みょうが(花 穂)の収穫 3 日 前まで ただし、花穂を 収穫しない場合 にあつては開花 期終了まで				
しそ	斑点病		100～ 300L/10a	収穫前日まで		株元散布	2 回以内	
せり	葉枯病			収穫 7 日 前まで	4 回以内	散布	5 回以内 (粒剤は 1 回 以内、水和剤 は 4 回以内)	
クレソン	斑点病			収穫 21 日 前まで			3 回以内	
だいこん	白さび病 ワッカ症			収穫 14 日 前まで	3 回以内		4 回以内 (粒剤は 1 回 以内、水和剤 は 3 回以内)	
あずき いんげんまめ	炭疽病			60～200 L/10a	収穫 7 日 前まで			3 回以内
葉ごぼう	うどんこ病			100～300 L/10a	収穫 21 日 前まで		1 回	
こおにたびら こ ははこぐさ	菌核病		収穫 30 日 前まで					
ズッキーニ	うどんこ病		収穫前日まで		4 回以内		4 回以内 (粒剤は 3 回 以内)	
ピーマン	灰色かび病							
オクラ	うどんこ病							
畑わさび	白さび病	収穫 7 日 前まで						2 回以内
わさび		畑育苗期						
かぶ	白斑病	収穫 7 日 前まで					3 回以内 (粒剤は 1 回 以内、水和剤 は 2 回以内)	
さやいんげん		菌核病 灰色かび病			収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病 菌核病 褐紋病							

① 20.0%アズキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
セルリー	斑点病	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内
未成熟そらまめ	さび病			収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
モロヘイヤ	灰色かび病			収穫前日まで	4 回以内		4 回以内
ばれいしょ	夏疫病	3000～4000 倍	—	収穫 7 日前まで	3 回以内	瞬時種いも浸漬	5 回以内 (種いもへの処理は 1 回以内、植付時の土壌散布は 1 回以内、散布は 3 回以内)
	黒あざ病	500 倍		植付前	1 回		
		100～200 倍	20L/10a	植付時			
やまのいも	葉渋病 炭疽病	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
せんぶり	さび病			収穫 7 日前まで			
にら(花茎)	白斑葉枯病			収穫前日まで	2 回以内		2 回以内
しゅんぎく	炭疽病						

② 10.0%アズキシストロビンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
なし	黒星病 黒斑病 輪紋病	1000～1500 倍	200～700L/10a	収穫前日まで	5 回以内	散布	5 回以内
	うどんこ病 炭疽病	1000 倍					
ぶどう	黒とう病 灰色かび病 べと病 枝膨病 晩腐病 褐斑病 さび病			1000 倍	200～700L/10a		
おうとう	灰星病 褐色せん孔病 炭疽病			収穫前日まで			

② 10.0%アズキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
もも	灰星病 黒星病 ホトブシ腐敗病	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ネクタリン	灰星病 黒星病						
パッションフ ルーツ	円斑病 疫病						
かき	うどんこ病 落葉病 炭疽病 黒点病			収穫 7 日 前まで			
りんご (ふじ、王林、 ジョナゴールド、つがる、千 秋、さんさ、紅 玉、シナノスイ ート、昴林、涼 香の季節)	うどんこ病			収穫 45 日 前まで			
いちじく	そうか病 疫病 さび病 黒葉枯病			収穫前日 まで			
すもも	灰星病 すす点病			収穫 7 日 前まで			
びわ	炭疽病	収穫 7 日 前まで	1 回				
うめ	黒星病 すす斑病	1500 倍		収穫前日 まで			
マンゴー	炭疽病	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	1 回	
グアバ (果実)				収穫 7 日 前まで	3 回以内	3 回以内	
オリーブ オリーブ (葉)				収穫 30 日 前まで	2 回以内	2 回以内	
ピタヤ	炭腐症	1000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
バナナ	黒星病			収穫 7 日 前まで			

③ 8.0%アゾキシストロビンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	1000～ 1500 倍	100～ 200L/10a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱散布 は 1 回以内、 本田では 3 回以内)
	稲こうじ病 穂枯れ (すじ葉枯病菌) 変色米 (カーブリア菌) 変色米 (エビコッカム菌) 変色米 (アルナリア菌)	1000 倍					
	いもち病	8 倍	800mL/10a			無人 ヘリコプターに よる散布	
		原液	120～ 150mL/10a			空中散布	
		30 倍	3L/10a			散布	
		300 倍	25L/10a			無人 ヘリコプターに よる散布	
	紋枯病	8 倍	800mL/10a			空中散布	
		原液	120～ 150mL/10a			散布	
		30 倍	3L/10a				
		300 倍	25L/10a				

④ 1.5%アゾキシストロビン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	4kg/10a	出穂 10～ 30 日前	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田 では 3 回以内)

⑤ 6.0%アゾキシストロビン・1.0%フィプロニル粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウンカ類 イネミズズウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	移植 3 日前 ～移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する。	4 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 3 回以内)

⑥ 0.6%アゾキシストロビン粉剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	4kg/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 3 回以内)

⑦ 4.8%アゾキシストロビン・40.0%TPN フロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000 倍	100～ 400 L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内
かぼちゃ	うどんこ病 べと病 疫病			収穫 7 日前まで	3 回以内		
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病 菌核病			収穫 3 日前まで	4 回以内		
すいか	炭疽病 つる枯病 うどんこ病 褐色腐敗病 菌核病			収穫前日まで	4 回以内		
トマト	疫病 葉かび病 炭疽病			収穫前日まで	4 回以内		
ミニトマト	灰色かび病 すすかび病 斑点病			収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内

⑦ 4.8%アズキシストロビン・40.0%TPNフロアブル（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
なす	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病 灰色かび病	1000 倍	100～400 L/10a	収穫前日 まで	4 回以内	散布	4 回以内
はくさい	べと病 白斑病 黒斑病 白さび病			収穫 7 日 前まで	2 回以内		
にんじん	黒葉枯病 斑点病 菌核病 しみ腐病 うどんこ病			収穫 21 日 前まで			
たまねぎ	灰色かび病 べと病			収穫 7 日 前まで	4 回以内		4 回以内
ねぎ	べと病 さび病 黒斑病 黄斑病 葉枯病 小菌核腐敗 病			収穫 14 日 前まで	3 回以内		
にんにく	さび病			収穫 7 日 前まで			
だいこん	白さび病			収穫 45 日 前まで			4 回以内 (粒剤 は 1 回以内、 水和剤は 3 回 以内)
ピーマン	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病 灰色かび病 疫病			収穫前日 まで	4 回以内 (粒剤 は 3 回以内)		
にがうり	うどんこ病			収穫 7 日 前まで			3 回以内

⑧ 18.2%アズキシストロビン・11.3%ジフェノコナゾールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
てんさい	褐斑病	1000～ 2000 倍	100～400L/10a	収穫 21 日 前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (灌注は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
	葉腐病	2000 倍					

⑨ 2.0%アズキシストロビン・1.0%メタラキシルM粒剤

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アズキシストロビン を含む農薬の 総使用回数
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	18kg/10a	みょうが(花 穂)の収穫30 日前まで ただし、花穂 を収穫しない 場合にあつて は開花期終了 まで	1回	土壌表面散布	3回以内(粒剤 は1回以内)
みょうが (花穂)						
しょうが			収穫30日 前まで	3回以内	定植前作条土壌 混和又は生育期 土壌表面散布	3回以内
葉しょうが			収穫21日 前まで		土壌表面散布	
ホップ	べと病	10~20 g/株	株ごしらえ時 ~選芽期	1回	株元散布	1回
ピーマン	疫病	3g/株	収穫前日まで	3回以内		4回以内 (粒剤は 3回以内)
とうがらし類 (ししとうを除 く)				1回		1回
ししとう						3回以内
パセリ		12kg/10a	収穫21日 前まで	3回以内		4回以内 (粒剤は3回 以内、水和剤 は1回以内)
かぶ こまつな	白さび病	9kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	3回以内 (粒剤は1回 以内、水和剤 は2回以内)
チンゲンサイ タアサイ			定植時			
みずな			は種時 又は定植時			
だいこん		9kg/10a	は種時			4回以内 (粒剤は1回 以内、水和剤 は3回以内)
ほうれんそう	べと病	9kg/10a				1回

⑨ 2.0%アズキシストロビン・1.0%メタラキシルM粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
こんにゃく	根腐病	9kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回
	白絹病		培土時		株元散布	
にんじん	しみ腐病	9~18kg/10a	は種前		全面土壌混和	3回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)
べにばな いんげん	茎根腐病	1g/株	定植時		株元散布	1回
せり	葉腐病	3kg/10a	収穫21日前まで		湛水散布	5回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)
くわい	茎腐病					

(2) 海外での使用方法

80%アズキシストロビン顆粒水和剤（ブラジル）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
コーヒー	褐斑病 さび病	0.05kg/ha	収穫21日前まで	4回以内	散布
	葉腐病 さび病 <i>Phoma costaricensis</i>				土壌灌注

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

①分析対象の化合物

- ・アゾキシストロビン

②分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム又はアセトニトリル／ヘキサンの分配、フロリジルカラム及びシリカゲルカラムで精製した後、高速液体クロマトグラフ (UV) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出する。C₁₈カラム及びグラファイトカーボンカラムで精製又は酢酸エチルに転溶し、フロリジルカラム、グラファイトカーボンカラム及びシリカゲルカラムで精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) で定量する。

定量限界：0.003～1 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2 を参照。

なお、海外で実施された収穫後使用に係る作物残留試験の結果の概要については別紙 1-3 を参照。

4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数 (BCF : Bioconcentration Factor) から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場合においても使用されることから、水田 PECTier2^{注2)}及び非水田 PECTier1^{注3)}を算出したところ、水田 PECTier2は0.47ppb、非水田 PECTier1は0.0049ppbとなったことから、水田 PECTier2の0.47ppbを採用した。

(2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール／水分配係数 ($\log_{10}Pow$) が2.5であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCF については実測値が得られていない。このため、 $\log_{10}Pow$ から、相関式 ($\log_{10} BCF = 0.80 \times \log_{10} Pow - 0.52$) を用いて 30 と算出された。

(3) 推定残留量

(1)及び(2)の結果から、アゾキシストロビンの水産動植物被害予測濃度:0.47ppb、

BCF：30 とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.47\text{ppb} \times (30 \times 5) = 70.5\text{ppb} = 0.0705\text{ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考)：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. 畜産物への推定残留量

動物飼養試験（家畜残留試験）

(1) 乳牛における残留試験

乳牛に対してアゾキシストロビンが0、5、25、75、250ppm含有する飼料を27～30日間にわたり摂食させ、大腿部の内転筋、胸筋、肝臓、腎臓、腹腔内脂肪、皮下脂肪及び乳に含まれるアゾキシストロビン含量を測定した。

また、乳については、投与開始後1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30、31日目に搾乳したものを測定した（定量限界：乳0.001 ppm、乳以外0.01ppm）。結果については表1を参照。

表 1. 組織中の最大残留量 (ppm)

	5 ppm 投与群	25 ppm 投与群	75 ppm 投与群	250 ppm 投与群
大腿部内転筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
胸筋	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.01	0.05	0.07
腎臓	<0.01	<0.01	0.01	0.02
腹腔内脂肪	<0.01	<0.01	0.03	0.03
皮下脂肪	<0.01	<0.01	0.02	0.02
乳	0.003	0.006	0.004	0.009

(2) 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してアゾキシストロビンが0、6、18、60ppm含有する飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、肝臓及び脂肪中のアゾキシストロビン含量を測定したところ最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。（定量限界：0.01ppm）。

また、鶏卵についても投与開始後1、3、7、10、14、18、21、25、28日に採卵し分析したところ、最高投与群においていずれも<0.01ppmであった。（定量限界：0.01ppm）。

上記の結果に関連して、JMPRでは乳牛及び家禽におけるMTDB^{注)} はそれぞれ72ppm及び22ppmと評価している。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考 : Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

(3) 推定残留量

乳牛及び産卵鶏について、MTDB と各試験における投与量から、畜産物中の推定残留量 (最大値) を算出した。結果については表 2-1 及び 2-2 を参照。

表 2-1. 畜産物中の推定残留量 ; 牛 (ppm)

	筋肉	肝臓	腎臓	脂肪	乳
乳牛	0.01	0.05	0.01	0.03	0.004

表 2-2. 畜産物中の推定残留量 ; 産卵鶏 (ppm)

	筋肉	肝臓	脂肪	鶏卵
産卵鶏	0.01	0.01	0.01	0.01

6. ADI の評価

食品安全基本法 (平成 15 年法律第 48 号) 第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたアゾキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量 : 18.2mg/kg 体重/day (発がん性は認められなかった。)

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2 年間

安全係数 : 100

ADI : 0.18 mg/kg 体重/day

なお、評価に供された遺伝毒性試験において *in vitro* 試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験をはじめ *in vivo* 試験では陰性の結果が得られたので、アゾキシストロビンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

7. 諸外国における状況

2008年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されている。国際基準はバナナ、ぶどう等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合 (EU) 、オーストラリア及びニュージーランドについて調査

した結果、米国においてとうもろこし、いちご等に、カナダにおいてぶどう、なたね等に、EUにおいてえだまめ、ぶどう等に、オーストラリアにおいてアボカド、ぶどう等に、ニュージーランドにおいて小麦、ぶどう等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

アゾキシストロビンとする。

海外の作物残留試験においてメチル(Z)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリレート（以下、「Z体」という。）が検出されており、米国等においてZ体も含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分がアゾキシストロビンの10%未満にとどまっていること及び国内の作物残留試験においてZ体について分析を行った試験（10試験）においては、いずれも定量限界未満（<0.01ppm）であることから、Z体については規制対象として含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてアゾキシストロビン（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までアゾキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果における各食品の平均摂取量に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	39.1
幼小児（1～6歳）	75.2
妊婦	30.1
高齢者（65歳以上）	40.9

注) TMDI試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

アゾキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (玄米)	2	6%粒剤+ 1.5%粒剤	50g/箱 (箱施用) + 4kg/10a 散布	4回	39, 41, 50日	圃場A:<0.01 (4回, 39日)
					35, 39, 46日	圃場B:<0.01 (4回, 35日)
稲 (玄米)	2	6%粒剤+ 0.6%粒剤	50g/箱 (箱施用) +4kg/10a 散布	4回	14, 21, 28日	圃場A:0.01 圃場B:0.02
稲 (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	13, 20, 27日	圃場A:0.04 (4回, 13日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.02 (4回, 28日)
稲 (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 1,000倍散布 150L/10a	4回	14日	圃場A:0.03 圃場B:0.04
稲 (玄米)	2	6%粒剤+ 8%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	4回	14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.02
稲 (玄米)	2	6%粒剤+ 20%フロアブル	50g/箱(箱施用)+ 500倍散布 25L/10a	4回	14, 21日	圃場A:0.02 (4回, 14日) (#) 注2) 圃場B:0.03 (4回, 7日) (#)
小麦 (種子)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg(種子処理) + 800倍根雪前散布 100L/10a + 2000倍散布 100L/10a	2回	237日	圃場A:<0.01 (#)
				5回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 (5回, 7日) (#)
小麦 (種子)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg(種子処理) +800倍根雪前散布 100L/10a + 2000倍散布 100L/10a	2回	208日	圃場A:0.01 (#)
				5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10 (5回, 7日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 (3回, 7日) (#) 圃場B:0.01 (3回, 7日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	20%フロアブル	8倍無人ヘリ散布 800mL/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.03 (2回, 7日) (#) 圃場B:0.05 (2回, 7日) (#)
あずき (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 120L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 (3回, 14日)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
べにばな いんげん (乾燥種実)	2	2%粒剤	1g/株	1回	89, 96, 103日	圃場A:<0.1 (1回, 89日)
					91, 98, 105日	圃場B:<0.1 (1回, 91日)
ばれいしょ (塊茎)	2	20%フロアブル	500倍種いも浸漬 3000倍散布 200~250L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:<0.003 圃場B:<0.003
ばれいしょ (塊茎)	2	20%フロアブル	500倍種いも浸漬 100倍散布20L/10a 3000倍散布192~200L/10a	5回	7, 14日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
やまのいも (塊根)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~250L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
こんにやく (球茎)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	123, 137, 151日	圃場A:0.008 (1回, 137日)
					100, 114, 128日	圃場B:0.006 (1回, 114日)
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	17%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	21, 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
てんさい (根部)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a + 500倍土壌灌注 1L/冊	1+3回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01 (4回, 21日)
だいこん (根部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 107~250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.44 圃場B:0.14
だいこん (根部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	1+3回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布200L/10a	1+3回	14, 21日	圃場A:4.62 圃場B:1.21
だいこん (つまみ菜)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.07
だいこん (間引き菜)	2	2%粒剤	9kg/10a	1回	20日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぶ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.36 圃場B:8.64
かぶ (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04(2回, 14日)
かぶ (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a作条土壌混和+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:4.4 圃場B:10.4
かぶ (根茎)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a作条土壌混和+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:0.04 圃場B:0.08
かぶ (茎葉)	1	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a作条土壌混和+ 2000倍散布179L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:7.13
かぶ (根茎)	1	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a作条土壌混和+ 2000倍散布179L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:<0.01
クレソン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A:<0.20 圃場B:0.26
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	原液 8mL/kg (吹付コーティング) + 2000倍散布 300L/10a	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.10(5回, 7日)(#)
はくさい (茎葉)	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.06
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.08 圃場B:<0.01
こまつな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 214~400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.0 圃場B:9.2
こまつな (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a散布+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:2.0 圃場B:2.0
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 265~391L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:8.5 圃場B:24.6
みずな (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a全面土壌混和+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:1.3 圃場B:5.2
チンゲンサイ (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a散布+ 2000倍散布200L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:6.4 圃場B:1.4
ブロッコリー (花蕾)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250, 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:2.8 圃場B:2.4
大山そだち (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.12 圃場B:5.34
サガミグリーン (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:4.18 圃場B:4.12
しろな (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.76 圃場B:3.32
タアサイ (葉部)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	9kg/10a+ 2000倍散布 200L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:1.6 圃場B:4.7
ごぼう (根部)	2	2%粒剤	9kg/10a 散布	1回	141, 148, 155日 148, 155, 162日	圃場A:<0.01(1回, 141日) 圃場B:0.02(1回, 162日)
畑わさび (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:5.86 圃場B:11.8
畑わさび (根茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:0.82(2回, 14日) 圃場B:0.73
畑わさび (花及び花茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300~320L/10a	2回	7, 14, 28日	圃場A:1.52 圃場B:7.16
エンダイブ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28, 35日	圃場A:<0.05 圃場B:1.18
しゅんぎく (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:12.1 圃場B:15.2
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200~300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:2.94(4回, 14日)
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a + 茎葉散布 200~300L/10a	4回	7, 14日 7, 13日	圃場A:2.4 圃場B:2.5
サラダ菜 (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:14.0 圃場B:15.9

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
リーフレタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100~245L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:21.0 圃場B:5.0
葉ごぼう (植物体全体)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	21, 28日	圃場A:1.6 圃場B:2.2
ほとけのざ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.86 圃場B:1.29
ごぎょう (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100~150L/10a	1回	30, 45, 60日	圃場A:0.36 圃場B:0.77
たまねぎ (鱗茎)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
根深ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.96 圃場B:0.20
葉ねぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.42(4回, 7日) 圃場B:1.20
にんにく (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300, 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	2回	14日	圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス (茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250~300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 6日	圃場A:0.83 圃場B:0.13
わけぎ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~400L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.1 圃場B:0.4
らっきょう (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.02(3回, 7日) 圃場B:0.02
葉たまねぎ (鱗茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:2.19(3回, 7日) 圃場B:1.11(3回, 7日)
にんじん (根部)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200~400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
にんじん (根部)	2	2%粒剤+ 4.8%フロアブル	18kg/10a作条土壌混和+ 1000倍散布 150~200L/10a	1+2回	21, 28日	圃場A:0.05 圃場B:0.06(3回, 28日)
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	1回	45, 60日	圃場A:0.05(1回, 60日) 圃場B:0.33
パセリ (茎葉)	2	20%フロアブル+ 2%粒剤	2000倍散布 200L/10a + 18kg/10a	1+3回	21, 28日	圃場A:<1(4回, 21日)(#) 圃場B:<1(4回, 21日)(#)
セルリー (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:9.36 圃場B:6.1(4回, 7日)
みつば (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	14, 21日	圃場A:1.6 圃場B:1.7
せり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日 7, 12, 20日	圃場A:0.7(4回, 14日) 圃場B:0.8
せり (茎葉)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	3kg/10a + 2000倍散布 260~330L/10a	1+4回	21, 28, 35日	圃場A:5.63 圃場B:2.51
トマト (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日 1, 3, 8日	圃場A:0.40 圃場B:0.09(4回, 8日)
ミニトマト (果実)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.2 圃場B:0.1
ピーマン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:1.18 圃場B:1.28
ピーマン (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.1(4回, 1日)(#) 圃場B:<0.1(4回, 1日)(#)
なす (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 圃場B:0.58
ししとう (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.1(4回, 1日)(#) 圃場B:<0.1(4回, 1日)(#)
甘長とうがらし (果実)	2	2%粒剤	3g/株	4回	1, 3, 7, 14日 1, 3, 7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.1(4回, 1日)(#) 圃場B:<0.1(4回, 1日)(#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 + 1500倍散布 150~300L/10a	1回	46日	圃場A:<0.01 (#)
				4回	1, 3, 7日	圃場A:0.20(4回, 1日) (#)
				5回		圃場A:0.16(5回, 1日) (#)
	1	20%フロアブル	1000倍株元灌注 100mL/株 + 1500倍散布 150~300L/10a	1回	85日	圃場A:0.01 (#)
				4回	1, 3, 7日	圃場B:0.48(4回, 1日) (#)
				5回		圃場A:0.25(5回, 1日) (#)
かぼちゃ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 293.3~300L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:0.3(4回, 1日) (#) 圃場B:0.3(4回, 1日) (#)
ズッキーニ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.2 圃場B:0.2
すいか (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 168~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.01(4回, 7日) 圃場B:<0.01
メロン (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にがうり (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~300L/10a	3回	7日	圃場A:0.11 圃場B:0.40
ほうれんそう (茎葉)	2	2%粒剤	9kg/10a全面土壌混和	1回	46, 53, 60日 29, 36, 41日	圃場A:<0.01(1回, 46日) 圃場B:<0.01(1回, 29日)
オクラ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 180~250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.22 圃場B:1.06
しょうが (塊茎)	2	2%粒剤	散布 18kg/10a	3回	30, 40日	圃場A:0.013 圃場B:0.058
葉しょうが (根茎)	2	2%粒剤	散布 18kg/10a	3回	21, 28, 35日	圃場A:0.03 圃場B:0.14(3回, 35日)
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.28(3回, 3日) 圃場B:1.30
さやいんげん (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.77 圃場B:1.12
えだまめ (さや)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:2.32 圃場B:0.47(3回, 3日)
未成熟そらまめ (豆)	2	20%フロアブル	2000倍散布 250, 286L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.02
くわい (塊茎)	2	2%粒剤	散布 3kg/10a	2回	21, 28, 35日	圃場A:<1.0 圃場B:0.04(2回, 28日)
せんぶり (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:14.8 圃場B:3.65(3回, 14日)
オリーブ (葉)	2	10%フロアブル	1000倍散布 333~500L/10a	2回	28日	圃場A:8.67 圃場B:7.13
りんご (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	42日	圃場A:0.98 (#) 圃場B:0.14 (#)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	14, 28, 42日	圃場A:0.60(5回, 14日) 圃場B:0.36(5回, 14日)
日本なし (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A:0.68 圃場B:0.35
びわ (果実)	1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.014
				3回		圃場A:0.017
1	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.008	
もも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
ネクタリン (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.5(3回, 3日)
					1, 3, 7日	圃場B:1.4
すもも (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300~400L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.09
うめ (果実)	2	10%フロアブル	1500倍散布 250~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.6(3回, 7日) 圃場B:0.7
おうとう (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 500L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.30(3回, 3日)
						圃場B:0.47

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a + 1000倍土壌灌注 100mL/株	5回	89日	圃場A:0.11(#)
				8回	1, 3, 7日	圃場A:1.20(8回, 1日)(#)
いちご (果実)	1	20%フロアブル	1500~2000倍散布 300L/10a	5回	217日	圃場A:0.03(#)
				8回	1, 4, 8日	圃場A:1.18(8回, 1日)(#)
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	100倍休眠期散布 300~500L/10a + 1000倍散布 500L/10a	4回	45, 60, 75日	圃場A:4.22(4回, 45日)(#)
					45, 59, 75日	圃場B:1.68(4回, 45日)(#)
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	28, 35日	圃場A:0.6(3回, 28日)
						圃場B:1.4(3回, 28日)
かき (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300, 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05
						圃場B:0.36
バナナ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:1.33
						圃場B:0.72
グアバ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 139~222L/10a	3回	14, 21日	圃場A:0.03(3回, 14日)
					7, 14, 21日	圃場B:0.08
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:0.5
						圃場B:0.4
パッション フルーツ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.33
						圃場B:0.30
いちじく (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 230~300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.25
						圃場B:0.58
ピタヤ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 188~200L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:1.42
						圃場B:0.37(3回, 7日)
オリーブ (果実)	2	10%フロアブル	1000倍散布 333~500L/10a	2回	28日	圃場A:1.16
						圃場B:0.41
茶 (荒茶)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:4.75
						圃場B:2.62
						圃場C:0.80
						圃場D:3.46
茶 (浸出液)	4	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:2.50
						圃場B:1.34
						圃場C:0.42
						圃場D:1.28
ホップ (穂花)	2	2%粒剤	20g/株	1回	0, 10, 20日	圃場A:<1(1回, 0日)
						圃場B:<1(1回, 0日)
あさつき (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150~200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.5
						圃場B:0.8
しそ (葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.10
						圃場B:0.04
みょうが (花穂)	2	20%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.50(4回, 3日)(#)
						圃場B:0.34(4回, 3日)(#)
みょうが (花穂)	2	2%粒剤+ 20%フロアブル	散布18kg/10a + 2000倍土壌灌注 3000L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:2.2
						圃場B:1.0
モロヘイヤ (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍 200L/10a	4回	1, 7, 14日	圃場A:12.8
						圃場B:4.02

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

アゾキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (籾米)	7	80%顆粒水和剤	224g ai/ha 散布 +336g ai/ha 散布	2+1回	28日	圃場A:0.30 圃場B:2.7 圃場C:2.2 圃場D:0.41 圃場E:0.19 圃場F:0.27 圃場G:0.82
小麦 (穀粒)	5	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	40日 48日 48日 48日 39日	圃場A:0.01 圃場B:0.03 圃場C:0.02 圃場D:0.02 圃場E:0.03
大麦 (穀粒)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	3回	38日 53日 55日	圃場A:0.23 圃場B:0.14 圃場C:0.07
とうもろこし (穀粒)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	8回	7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01 圃場C:<0.01 圃場D:0.02 圃場E:<0.01 圃場F:<0.01
大豆 (種子)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	14日 15日 14日 16日 14日 14日 14日	圃場A:0.04 圃場B:0.12 圃場C:0.12 圃場D:0.07 圃場E:0.06 圃場F:0.06 圃場G:0.02
らっかせい (種子)	9	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	2回	14日 14日 14日 14日 14日 20日 14日 14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.12 圃場E:0.01 圃場F:<0.01 圃場G:<0.01 圃場H:0.06 圃場I:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	1500g ai/ha 土壌混和	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.01 圃場C:0.01 圃場D:0.01
ばれいしょ (根茎)	4	フロアブル (250g ai/L)	750g ai/ha 畝間散布	1回	108日 118日 95日 116日	圃場A:0.01 圃場B:0.02 圃場C:0.01 圃場D:0.03

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (根茎)	14	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	14日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01 圃場C:0.01 圃場D:<0.01 圃場E:<0.01 圃場F:0.02 圃場G:<0.01 圃場H:<0.01 圃場I:<0.01 圃場J:<0.01 圃場K:<0.01 圃場L:<0.01 圃場M:<0.01 圃場N:<0.01
てんさい (根茎)	9	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.03 圃場B:0.05 圃場C:0.18 圃場D:0.08 圃場E:0.04 圃場F:0.10 圃場G:0.11 圃場H:0.08 圃場I:0.05
ラディッシュ (根茎)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.41 圃場B:0.26 圃場C:0.14 圃場D:0.39 圃場E:0.11
ラディッシュ (葉)	5	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:23.6 圃場B:31.4 圃場C:12.8 圃場D:9.9 圃場E:14.3
クレソン (茎葉)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	3回 ----- 6回	7日	圃場A:0.117 圃場B:0.475 圃場C:0.511 圃場D:<0.0676 圃場E:1.32
キャベツ (葉) ※外葉あり	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:1.76 圃場B:0.90 圃場C:0.321 圃場D:1.99
キャベツ (葉)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.176 圃場B:0.101 圃場C:0.0251 圃場D:0.174
芽キャベツ (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.04 圃場C:0.05
ケール (茎葉)	3	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日 ----- 13, 21日	圃場A:0.08 圃場B:0.32 圃場C:0.31 (2回, 21日)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
マスタード (葉)	9	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 6日	圃場A: 4.81
					0日	圃場B: 14.7
					0日	圃場C: 4.36
					0, 7日	圃場D: 5.60 (6回, 7日)
					0日	圃場E: 12.2
					0, 7日	圃場F: 10.7 (6回, 7日)
					0, 6日	圃場G: 21.0
					0日	圃場H: 7.52
			135-280g ai/ha 散布		0日	圃場I: 7.19
ブロッコリー (花穂)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 3, 7日	圃場A: 0.804 (6回, 7日)
					0日	圃場B: 1.29
					0, 4, 6日	圃場C: 2.13
					0日	圃場D: 0.187
カリフラワー (花穂)	4	フロアブル (250g ai/L)	250g ai/ha 散布	2回	14, 21日	圃場A: 0.02 圃場B: 0.06 圃場C: 0.17 圃場D: 0.15
アーティチョーク (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A: 1.6 圃場B: 1.7 圃場C: 2.3
レタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A: 2.49 圃場B: 3.37 圃場C: 3.43 圃場D: 3.77 圃場E: 2.47 圃場F: 4.70 圃場G: 3.39 圃場H: 2.11
リーフレタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A: 6.1 圃場B: 3.5 圃場C: 4.4 圃場D: 10.0 圃場E: 8.2 圃場F: 4.9 圃場G: 13.5 圃場H: 2.7
たまねぎ (鱗茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A: 0.55 圃場B: 0.20 圃場C: 0.45 圃場D: 0.30 圃場E: <0.01 圃場F: 0.14 圃場G: 0.28 圃場H: 0.07
ねぎ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A: 5.5 圃場B: 1.4
ねぎ (茎葉)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A: 1.2 圃場B: 1.4 圃場C: 2.3 圃場D: 0.58
ねぎ (茎葉)	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A: 1.0 圃場B: 1.9 圃場C: 2.0 圃場D: 0.19

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
にんじん (根茎)	6	80%顆粒水和剤	370g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.17 圃場B:0.11 圃場C:0.23 圃場D:0.02 圃場E:0.29 圃場F:0.13
バセリ (茎葉)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:19.7 圃場B:14.2
セルリー (根茎)	8	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:2.1 圃場B:3.8 圃場C:9.1 圃場D:3.2 圃場E:2.3 圃場F:4.6 圃場G:5.6 圃場H:2.2
きゅうり (果実)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.06 圃場C:0.05 圃場D:0.04 圃場E:0.09 圃場F:0.07 圃場G:0.05
サマースカッシュ (果実)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.10 圃場C:0.05 圃場D:0.05 圃場E:0.11
カンタローブ (果実)	6	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	1日	圃場A:0.17 圃場B:0.14 圃場C:0.10 圃場D:0.19 圃場E:0.25 圃場F:0.1
ほうれんそう (茎葉)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	6日 0日 0日 6日 0日 0,7日 0日	圃場A:2.28(6回,6日) 圃場B:18.5 圃場C:8.25 圃場D:2.81(6回,6日) 圃場E:23.0 圃場F:13.6 圃場G:12.5
ほうれんそう (茎葉)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:16 圃場B:6.2 圃場C:10.1 圃場D:9.6
ほうれんそう (茎葉)	4	22.8%フロアブル	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:14 圃場B:5.0 圃場C:7.7 圃場D:12.0
未成熟豆類 (菜付豆)	3	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.38(1+6回,0日)(#) 注2) 圃場B:0.10(1+6回,0日)(#) 圃場C:1.0(1+6回,0日)(#)
多肉未成熟豆類 (豆)	1	80%顆粒水和剤	13.9g ai/km 畝間 +280g ai/ha 散布	1+6回	0日	圃場A:0.02(1+6回,0日)(#)
レモン (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量60- 68gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.69 圃場B:0.63 圃場C:0.58

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レモン (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量221-235 gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.42 圃場B:0.47 圃場C:0.27
オレンジ (果実)	4	80%顆粒水和剤	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.44 圃場B:0.28 圃場C:0.83 圃場D:0.56
オレンジ (果実)	4	フロアブル (208lb/gallon)	113g ai/ac 散布	6回	0日	圃場A:0.23 圃場B:0.35 圃場C:1.05 圃場D:0.72
グレープフルーツ (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量53- 67gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.18 圃場B:0.20 圃場C:0.18 圃場D:0.18
グレープフルーツ (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布 (水量217-242 gallon/acre)	6回	0日	圃場A:0.24 圃場B:0.24 圃場C:0.37
ラズベリー (果実)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回 6回	0日 0日	圃場A:0.69(7回,0日)(#) 圃場B:2.33
ブラックベリー (果実)	1	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	7回	0日	圃場A:2.87(7回,0日)(#)
ブルーベリー (果実)	7	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日 0,7日	圃場A:1.33(6回,0日)(#) 圃場B:0.493(6回,0日)(#) 圃場C:0.918(6回,0日)(#) 圃場D:0.677(6回,0日)(#) 圃場E:0.869(6回,0日)(#) 圃場F:0.857(6回,0日)(#) 圃場G:1.06(6回,0日)(#)
クランベリー (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	3,14日 3,13日 3,15日 3,14日	圃場A:0.151(6回,14日) 圃場B:0.257 圃場C:0.282 圃場D:0.181
バナナ (果実) (無袋)	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.10 圃場B:0.18 圃場C:0.10 圃場D:0.21 圃場E:0.25 圃場F:0.15
バナナ (果実) (袋詰)	6	80%顆粒水和剤	151g ai/ha 散布	8回	0日	圃場A:0.04 圃場B:0.01 圃場C:0.02 圃場D:0.05 圃場E:0.02 圃場F:0.13
マンゴー (果実)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:0.243 圃場B:0.0686 圃場C:0.444
ライチ (果実)	2	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	5回	0日	圃場A:1.66 圃場B:0.231
パパイヤ (果実)	2	500g ai/kg	80g ai/ha 散布 160 g ai/ha 散布	6回	0,3,7, 10,14日	圃場A:0.16(6回,0日) 圃場B:0.49(6回,0日)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
綿実 (種子)	12	80%顆粒水和剤	18.6g ai/km 畝間散布	1回	202日	圃場A:<0.01
					180日	圃場B:<0.01
					182, 217日	圃場C:<0.01
					184, 237日	圃場D:<0.01
					166日	圃場E:<0.01
					163, 218日	圃場F:<0.01
					161, 205日	圃場G:<0.01
					182日	圃場H:<0.01
					190日	圃場I:<0.01
					207日	圃場J:<0.01
					148, 198日	圃場K:<0.01
					161, 215日	圃場L:<0.01
なたね (種子)	1	水和剤 (250g ai/L)	250g ai/L 散布	2回	21, 23日	圃場A:0.05
なたね (種子)	1	フルトリアフォル 水和剤 (200g ai/L)	200g ai/L 散布	2回	21, 23日	圃場A:0.03
キャノーラ (種子)	2	80%顆粒水和剤	448g ai/ha 散布	1回	71日 65日	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
アーモンド (種子)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	29日	圃場A:<0.01
					29日	圃場B:<0.01
					29日	圃場C:<0.01
					29日	圃場D:<0.01
					28日	圃場E:<0.01
ピスタチオ (種子)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	7日	圃場A:0.406 圃場B:0.354 圃場C:0.244
ホップ (新鮮穂軸)	2	フロアブル (250 g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:3.2(6回, 28日) (#) 圃場B:3.4(6回, 28日) (#)
ホップ (乾燥穂軸)	4	フロアブル (250 g ai/L)	250g ai/ha 散布	6回	28日 26日	圃場A:12(6回, 28日) (#) 圃場B:10(6回, 28日) (#) 圃場C:15(6回, 28日) (#) 圃場D:9.3(6回, 28日) (#)
ディル (種子)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:6.20 圃場B:17.4 圃場C:23.3
バジル (葉)	3	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0日	圃場A:46.3
				5回		圃場B:23.3
				6回		圃場C:19.3
ピーマン (果実)	5	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 8日	圃場A:0.107(6回, 8日) (#)
					0, 6日	圃場B:0.369(6回, 0日) (#)
					0日	圃場C:0.314(6回, 0日) (#)
				7回	0, 7日	圃場D:0.242(6回, 7日) (#)
					0日	圃場E:0.136(7回, 0日) (#)
とうがらし (果実)	4	80%顆粒水和剤	280g ai/ha 散布	6回	0, 8日	圃場A:0.834(6回, 0日) (#)
					0日	圃場B:0.499(6回, 0日) (#)
					0日	圃場C:0.059(6回, 0日) (#)
				8回	0日	圃場D:0.915(8回, 0日) (#)
コーヒー豆 (種子)	1	80%顆粒水和剤	50g ai/ha 散布	5回	21, 28, 35, 42日	圃場A:<0.01(5回, 21日) (#)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（）内に記載した。

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「アゾキシストロビン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

一部の作物残留試験については、各国政府の要請により記載していない。

収穫後使用に係る作物残留試験

①作物残留試験方法の概要

主に米国の農業試験場または州立大学の附属施設で農薬処理した作物を栽培し、収穫した果実に防かび処理を施した後、分析機関でアゾキシストロビンの残留量を測定した。試験に関与した全ての施設は GLP 適合施設であった。通常の栽培方法に従い、果実に散布処理を 2 回した後、成熟果実を収穫した。防かび処理は浸漬処理または荷造工程スプレー処理で 1 または 2 回行った。残留データを作成した作物は以下の通りである。

(登録作物名)	(残留データを作成した作物)
かんきつ類	グレープフルーツ、オレンジ、レモン

②作物残留試験結果及び米国の残留農薬基準

(A) かんきつ類

以下の表 A-1～A-3 の結果に基づき、アメリカにおけるアゾキシストロビンのかんきつ類の残留基準は 10ppm に設定された。

表 A-1. グレープフルーツ

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)	
				最大値	最小値
グレープフルーツ (マーシュ) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2 回	0.056g ai/m ²	0.288	0.251
	米国テキサス州			0.101	0.098
	米国 カリフォルニア州	2 + 1 回	0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス)	5.427	2.938
	米国テキサス州			2.096	1.562
	米国 カリフォルニア州		0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(含ワックス)	0.986	0.915
	米国テキサス州		0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	1.443	1.185
	米国テキサス州		1.675	1.517	
	米国 カリフォルニア州		0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.554	0.414
	米国テキサス州		0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス) + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	2.682	2.077
			2.870	2.603	
米国 カリフォルニア州	2 + 2 回	0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.865	0.734	

表 A-2. オレンジ

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)		
				最大値	最小値	
オレンジ (バレンシア) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2 回	0.056g ai/m ²	0.285	0.171	
	米国フロリダ州			0.087	0.075	
	米国 カリフォルニア州	2 + 1 回	0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)]	3.994	2.385	
	米国フロリダ州		0.056g ai/m ² + 1.08g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)]	1.632	1.213	
	米国 カリフォルニア州		0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(含ワックス)	1.082	0.822	
			0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(無ワックス)]	果皮:5.518 果肉:0.744 全果実: 1.982	果皮:4.690 果肉:0.528 全果実: 1.509	
	米国フロリダ州			1.468	1.309	
	米国 カリフォルニア州		0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送ワックス処理	0.467	0.365	
			米国フロリダ州	0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)] + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	2.150	1.512
	米国フロリダ州			0.056g ai/m ² + 1.08g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)] + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(無ワックス)]	2.087	1.784
			米国 カリフォルニア州	2 + 2 回	0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.584

表 A-3. レモン

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)	
				最大値	最小値
レモン (ユーレカ) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2 回	0.056g ai/m ²	0.515	0.289
				0.693	0.466
		2 + 1 回	0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス)	3.577	2.711
				6.643	5.050
				1.565	1.179
				2.451	1.941
		0.808	0.715		
				0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送ワックス処理	
2 + 2 回	0.056g ai/m ² + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス) + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	5.478	3.604		
		9.182	8.152		
		0.880	0.775		
0.056g ai/m ² + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送用ワックス処理					

※1 使用回数について「A+B」と記載がある場合は、A：収穫前に使用したアゾキシストロビンの使用回数、B：収穫後に使用したアゾキシストロビンの使用回数を指す。

※2 アゾキシストロビン原体の含量を示す。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
米(玄米をいう。)	0.2	0.2	○			0.04(\$),0.02	
小麦	0.3	0.3	○	0.2		0.01(#),0.10(#)(\$)	
大麦	0.5	0.5		0.5			
ライ麦	0.3	0.3		0.2			
とうもろこし	0.05	0.05		0.02			
その他の穀類	0.5	0.5		0.5			
大豆	0.5	0.5	○	0.5	0.5	【0.02-0.12(n=7)(米国)】 【米国の大豆及び 乾燥豆参照】 【米国の大豆及び 乾燥豆参照】 【米国の大豆及び 乾燥豆参照】 【<0.01-0.12(n=9)(米国)】 【米国の大豆及び 乾燥豆参照】	
小豆類	0.5	0.5	○		0.5		
えんどう	0.5	0.5			0.5		
そら豆	0.5	0.5			0.5		
らっかせい	0.2	0.2		0.2	0.2		
その他の豆類	0.5	0.5			0.5		
ばれいしょ	1	1	○	1			
さといも類(やつがしらを含む。)	1	1		1			
かんしょ	1	1		1			
やまいも(長いもをいう。)	1	1	○	1			
こんにやくいも	1	1	○	1			
その他のいも類	1	1		1			
てんさい	1	1	○	1			
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	1	1	○	1		【9.9-31.4(n=5) (ラディッシュ)(米国)】	
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	50	50	○		50.0		
かぶ類の根	1	1	○	1		2.36,8.64(\$)	
かぶ類の葉	15	15	○				
西洋わさび	1	1		1		【米国のキャベツ及び ブロッコリー参照】 【0.321-1.99(n=4) (外葉あり) 0.0251-0.176(n=4) (外葉なし)(米国)】 (きょうな参照) 1.0,9.2(\$) 8.5,24.6(\$) (きょうな参照) 2.8,2.4 【0.187-2.13(n=4)(米国)】 (きょうな参照)	
クレソン	70	70	○	70			
はくさい	3	3	○		3.0		
キャベツ	5	5	○	5			
芽キャベツ	5	5		5			
ケール	40	40	○				
こまつな	15	15	○				
きょうな	40	40	○				
チンゲンサイ	40	40	○				
カリフラワー	5	5		5			
ブロッコリー	5	5	○	5			
その他のあぶらな科野菜	40	40	○	5			
ごぼう	1	1	○	1		【米国のレタス、リーフレタ ス、セロリ及びほうれん草 参照】 【米国のレタス、リーフレタ ス、セロリ及びほうれん草 参照】 【2.11-4.70(n=8)(レタス)、 2.7-13.5(n=8) (リーフレタス)(米国)】	
サルシフィー	1	1		1			
アーティチョーク	5	5		5			
チコリ	30	30		0.3			
エンダイブ	30	30	○		30.0		
しゅんぎく	30	30	○		30.0		
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	30	○	3	30.0		
その他のきく科野菜	70	70	○	70			
たまねぎ	10	10	○	10			0.83(\$),0.13
ねぎ(リーキを含む。)	10	10	○	10			
にんにく	10	10	○	10			
にら	70	70	○	70			
アスパラガス	2	2	○	0.01			
わけぎ	10	10	○	10			
その他のゆり科野菜	70	50	○	70			
にんじん	1	1	○	1			

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
パースニップ	1	1		1		
パセリ	70	70	○	70		
セロリ	30	30	○	5	30.0	アメリカ
みつば	5	5	○			【2.1-9.1(n=8)(米国)】 1.6,1.7
その他のせり科野菜	70	70	○	70		
トマト	3	3	○	3		
ピーマン	3	3	○	3		
なす	3	3	○	3		
その他のなす科野菜	30	30		3		1.18,1.28
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	1	○	1		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	1	1	○	1		<0.20(#),0.48(#)(\$)
しろり	1	1	○	1		
すいか	1	1	○			
メロン類果実	1	1	○			
まくわうり	1	1				
その他のうり科野菜	1	1	○	1		
ほうれんそう	30	30			30.0	アメリカ
オクラ	3	3	○	3		【2.28-23.0(n=7)(米国)】 1.22,1.06
しょうが	0.5	0.3	申			0.14(\$),0.03(葉しょうが)
未成熟えんどう	3	3	○	3		0.28,1.30(\$)
未成熟いんげん	3	3		3		
えだまめ	5	5	○	3		2.32(\$),0.47
しいたけ	3	3		3		
その他のきのこ類	3	3		3		
その他の野菜	70	70	○	70		
みかん	1	1				
なつみかんの果実全体	10	10		15	10	アメリカ
レモン	10	10		15	10	アメリカ
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	10	10		15	10	アメリカ
グレープフルーツ	10	10		15	10	アメリカ
ライム	10	10		15	10	アメリカ
その他のかんきつ類果実	10	10		15	10	アメリカ
りんご	2	2	○			0.98(#),0.14(#)
日本なし	2	2	○			0.68(\$),0.35
西洋なし	2	2	○			(日本なし参照)
びわ	0.1	0.1	○			0.014,0.017(\$)
もも	0.05	0.05	○			<0.01,0.01
ネクタリン	3	3	○	2		0.5,1.4(\$)
あんず(アプリコットを含む。)	2	2		2		
すもも(プルーンを含む。)	2	2	○	2		
うめ	2	2	○	2		0.6,0.7
おうとう(チェリーを含む。)	3	3	○	2		1.30(\$),0.47
いちご	10	10	○	10		
ラズベリー	5	5		5		
ブラックベリー	5	5		5		
ブルーベリー	5	5		5		
クランベリー	0.5	0.5		0.5		
ハuckleベリー	5	5		5		
その他のベリー類果実	5	5		5		
ぶどう	10	10	○	2		4.22(#)(\$),1.68(#)
かき	1	1	○			0.05,0.36(\$)
バナナ	3	3	○	2		1.33,0.72
パパイヤ	2	2		0.3	2.0	アメリカ
アボカド	1	1				【0.16,0.49(米国)】
グアバ	0.3	0.3	○			0.03,0.08(\$)
マンゴー	1	1	○	0.7		0.5,0.4
パッションフルーツ	1	1	○			0.33,0.30

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他の果実	5	3	○	5		
ひまわりの種子	0.5	0.5		0.5		
べにばなの種子	0.5	0.5				
綿実	0.7	0.7		0.7		
なたね	1	1			1.0	カナダ 【<0.01-0.05(n=4)(カナダ)】
ぎんなん	0.01	0.01		0.01		
くり	0.02	0.02		0.01		
ペカン	0.02	0.02		0.01		
アーモンド	0.02	0.02		0.01		
くるみ	0.02	0.02		0.01		
その他のナッツ類	1	1		1		
茶	10	10	○			4.75(\$),2.62,0.80,3.46
コーヒー豆	0.05	0.05		0.02	0.05	ブラジル 【<0.01(#)(ブラジル)】
ホップ	30	30	○	30		
その他のスパイス	70	70		15		
その他のハーブ	70	70	○	70		
牛の筋肉	0.05	0.05				【牛の脂肪参照】
豚の筋肉	0.05	0.05				【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.05	0.05				【牛の脂肪参照】
牛の脂肪	0.05	0.05		0.05		推:0.03
豚の脂肪	0.05	0.05		0.05		【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.05		0.05		【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	0.07	0.07		0.07		推:0.05
豚の肝臓	0.07	0.07		0.07		【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.07	0.07		0.07		【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	0.07	0.07		0.07		推:0.01
豚の腎臓	0.07	0.07		0.07		【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.07	0.07		0.07		【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	0.07	0.07		0.07		【牛の肝臓、腎臓参照】
豚の食用部分	0.07	0.07		0.07		【牛の肝臓、腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.07	0.07		0.07		【牛の肝臓、腎臓参照】
乳	0.01	0.01		0.01		推:0.004
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		推:0.01
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01		【鶏の筋肉参照】
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		推:0.01
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01		0.01		【鶏の脂肪参照】
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01		推:0.01
その他の家きんの肝臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
その他の家きんの腎臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
その他の家きんの食用部分	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の卵	0.01	0.01		0.01		推:0.01
その他の家きんの卵	0.01	0.01		0.01		【鶏の卵参照】
魚介類	0.08	0.08				【推:0.0705】
とうもろこし油(注に限る。)	0.1	0.1		0.1		
とうがらし(乾燥させたもの)	30	30		30		
乾燥ハーブ	300	300		300		

注) 食用植物油の日本農林規格に規定する食用とうもろこし油及びこれと同等以上の規格を有すると認められる食用油。本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。
「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

アズキシストロビン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.2	37.0	19.5	27.9	37.8
小麦	0.3	35.0	24.7	37.0	25.0
大麦	0.5	3.0	0.1	0.2	1.8
ライ麦	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.05	0.1	0.2	0.1	0.0
その他の穀類	0.5	0.2	0.1	0.3	0.2
大豆	0.5	28.1	16.9	22.8	29.4
小豆類	0.5	0.7	0.3	0.1	1.4
えんどう	0.5	0.2	0.1	0.2	0.2
そら豆	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2
らっかせい	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の豆類	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
ばれいしょ	1	36.6	21.3	39.8	27.0
さといも類 (やつがしらを含む。)	1	11.6	5.7	7.9	17.3
かんしょ	1	15.7	17.7	13.8	16.8
やまいも (長いもをいう。)	1	2.6	0.5	1.6	4.3
こんにゃくいも	1	12.9	5.7	11.0	13.4
その他のいも類	1	0.4	0.3	0.8	0.4
てんさい	1	4.5	3.7	3.4	4.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	1	45.0	18.7	28.7	58.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	50	110.0	25.0	45.0	170.0
かぶ類の根	1	2.6	0.7	0.7	4.2
かぶ類の葉	15	7.5	1.5	4.5	16.5
西洋わさび	1	0.1	0.1	0.1	0.1
クレソン	70	7.0	7.0	7.0	7.0
はくさい	3	88.2	30.9	65.7	95.1
キャベツ	5	114.0	49.0	114.5	99.5
芽キャベツ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ケール	40	4.0	4.0	4.0	4.0
こまつな	15	64.5	30.0	24.0	88.5
きょうな	40	12.0	4.0	4.0	12.0
チンゲンサイ	40	56.0	12.0	40.0	76.0
カリフラワー	5	2.0	0.5	0.5	2.0
ブロッコリー	5	22.5	14.0	23.5	20.5
その他のあぶらな科野菜	40	84.0	12.0	8.0	124.0
ごぼう	1	4.5	1.6	2.4	5.2
サルシフィー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
アーティチョーク	5	0.5	0.5	0.5	0.5
チコリ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
エンダイブ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
しゅんぎく	30	75.0	18.0	57.0	111.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	30	183.0	75.0	192.0	126.0
その他のきく科野菜	70	28.0	7.0	35.0	49.0
たまねぎ	10	303.0	185.0	331.0	226.0
ねぎ (リーキを含む。)	10	113.0	45.0	82.0	135.0
にんにく	10	3.0	1.0	1.0	3.0
にら	70	112.0	49.0	49.0	112.0
アスパラガス	2	1.8	0.6	0.8	1.4
わけぎ	10	2.0	1.0	1.0	3.0
その他のゆり科野菜	70	63.0	7.0	7.0	126.0
にんじん	1	24.6	16.3	25.1	22.3
パースニップ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パセリ	70	7.0	7.0	7.0	7.0
セロリ	30	12.0	3.0	9.0	12.0
みつば	5	1.0	0.5	0.5	1.0
その他のせり科野菜	70	7.0	7.0	7.0	21.0
トマト	3	72.9	50.7	73.5	56.7

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
ピーマン	3	13.2	6.0	5.7	11.1
なす	3	12.0	2.7	9.9	17.1
その他のなす科野菜	30	6.0	3.0	3.0	9.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	1	16.3	8.2	10.1	16.6
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	1	9.4	5.8	6.9	11.5
しろうり	1	0.3	0.1	0.1	0.8
すいか	1	0.1	0.1	0.1	0.1
メロン類果実	1	0.4	0.3	0.10	0.3
まくわうり	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	1	0.5	0.1	2.3	0.7
ほうれんそう	30	561.0	303.0	522.0	651.0
オクラ	3	0.9	0.6	0.6	0.9
しょうが	0.5	0.3	0.1	0.4	0.4
未成熟えんどう	3	1.8	0.6	2.1	1.8
未成熟いんげん	3	5.7	3.6	5.4	5.4
えだまめ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
しいたけ	3	14.1	5.4	11.4	14.7
その他のきのこ類	3	29.4	12.0	23.1	29.7
その他の野菜	70	882.0	679.0	672.0	854.0
みかん	1	41.6	35.4	45.8	42.6
なつみかんの果実全体	10	1.0	1.0	1.0	1.0
レモン	10	3.0	2.0	3.0	3.0
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	10	4.0	6.0	8.0	2.0
グレープフルーツ	10	12.0	4.0	21.0	8.0
ライム	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のかんきつ類果実	10	4.0	1.0	1.0	6.0
りんご	2	70.6	72.4	60.0	71.2
日本なし	2	10.2	8.8	10.6	10.2
西洋なし	2	0.20	0.20	0.20	0.20
びわ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	0.05	0.0	0.0	0.2	0.0
ネクタリン	3	0.3	0.3	0.3	0.3
あんず (アプリコットを含む。)	2	0.2	0.2	0.2	0.2
すもも (プルーンを含む。)	2	0.4	0.2	2.8	0.4
うめ	2	2.2	0.6	2.8	3.2
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.3	0.3	0.3	0.3
いちご	10	3.0	4.0	1.0	1.0
ラズベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ブラックベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ブルーベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
クランベリー	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
ハuckleベリー	5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のベリー類果実	5	0.5	0.5	0.5	0.5
ぶどう	10	58.0	44.0	16.0	38.0
かき	1	31.4	8.0	21.5	49.6
バナナ	3	37.8	33.9	26.1	53.1
パパイヤ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
アボカド	1	0.2	0.1	0.1	0.2
グアバ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
パッションフルーツ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	5	19.5	29.5	7.0	8.5
ひまわりの種子	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
べにばなの種子	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
綿実	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
なたね	1	8.4	5.0	8.2	5.3
ぎんなん	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
その他のナッツ類	1	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	10	30.0	14.0	35.0	43.0
コーヒー豆	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
ホップ	30	3.0	3.0	3.0	3.0
その他のスパイス	70	7.0	7.0	7.0	7.0
その他のハーブ	70	7.0	7.0	7.0	7.0
陸棲哺乳類の肉類	0.07	4.0	2.3	4.2	4.0
陸棲哺乳類の乳類	0.01	1.4	2.0	1.8	1.4
家禽の肉類	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
魚介類	0.08	7.5	3.4	7.5	7.5
計		3755.5	2139.7	3008.0	3989.9
ADI比 (%)		39.1	75.2	30.1	40.9

高齢者及び妊婦については摂取量データの一部がないため、国民平均の摂取量を参考とした。
TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

平成10年	4月24日	初回農薬登録
平成16年	11月16日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：だいこん及びピーマン）
平成16年	11月30日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成18年	2月22日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：にんじん、ねぎ等）
平成18年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成18年	12月21日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年	9月21日	残留農薬基準告示
平成19年	9月21日	農林水産省から厚生労働省へ基準設定依頼（魚介類）
平成19年	10月2日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	11月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成20年	6月30日	残留農薬基準告示
平成21年	4月20日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：バナナ、しょうが等）
平成21年	6月8日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	1月28日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成22年	12月13日	残留農薬基準告示
平成23年	8月9日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：こんにゃく）
平成23年	10月4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	10月4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに添加物の指定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	3月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

平成25年 3月12日 残留基準値告示

平成25年 4月16日 農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：葉しょうが）

平成25年 6月11日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請

平成25年 7月29日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

平成26年 1月 8日 薬事・食品衛生審議会へ諮問

平成26年 2月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当部長
延東 真	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所名誉所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター薬学教育部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	東北大学大学院薬学研究科薬物動態学分野准教授
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○：部会長)